

2022年3月期 第2四半期決算 説明会資料

2021年11月1日

日本ライフライン株式会社

1. 2022年3月期 第2四半期決算概要
2. 販売状況および今後の見通し



1. 2022年3月期 第2四半期 決算概要

常務取締役管理本部長

山田 健二

- **売上高は、コロナの影響を受けるも計画通りに進捗し、対前年同期で増収**
- **売上総利益率は、自社製品比率の上昇、原価低減により改善**
- **販管費は、先行投資費用の増加により対前年同期で増加するも、対計画では費用縮減等により減少**

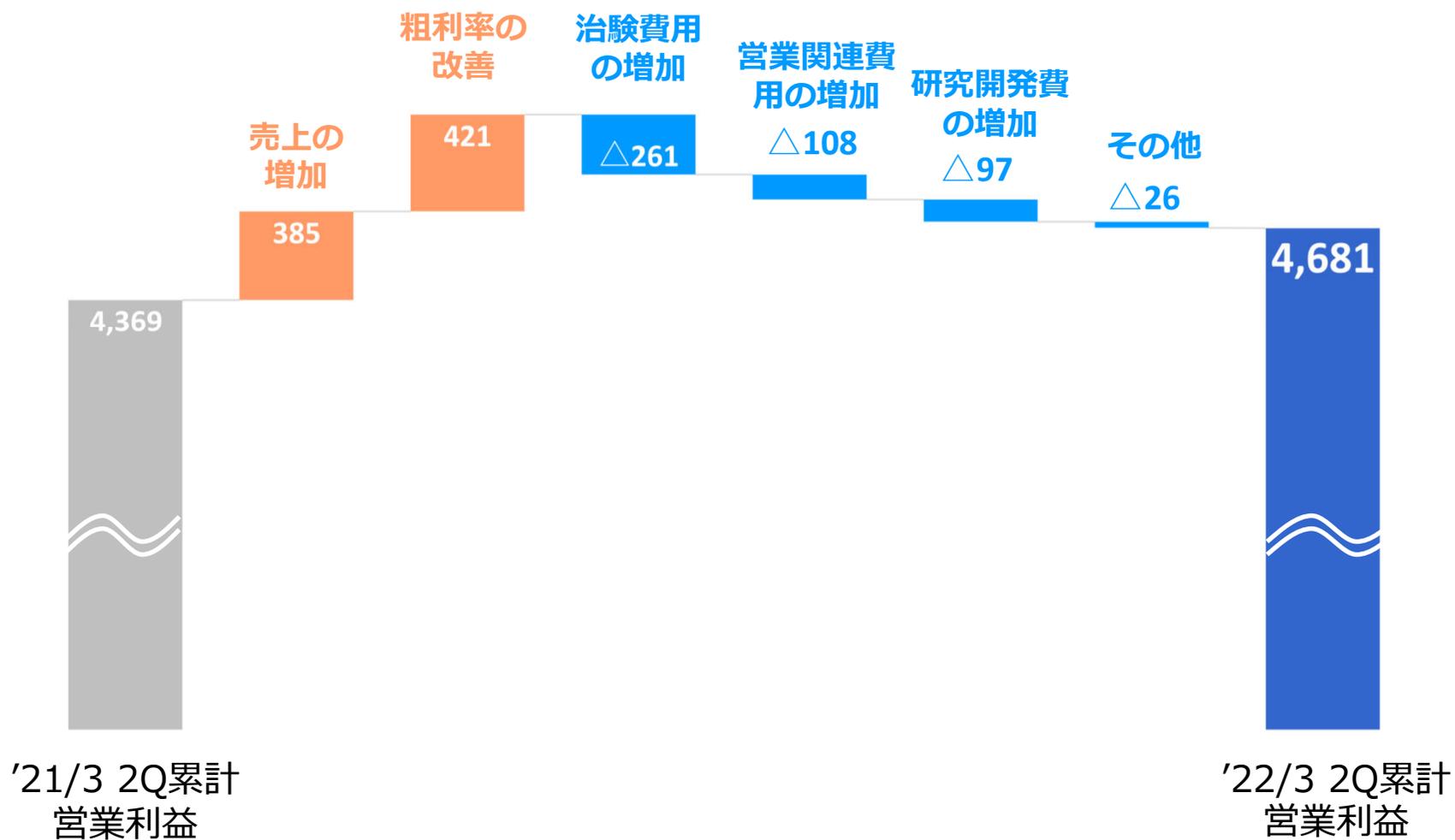
'22/3 2Q累計 連結業績

- ・ 売上高は、2Qでコロナ影響が増大するも、半期ではほぼ計画水準を確保
一部商品の販売終了の影響あるも、EP/ABLの増収にてカバー
- ・ 売上総利益率は、自社製品比率の上昇と原価低減により、1.7pt改善
- ・ 営業利益率は、販管費（営業関連費用・治験費用・研究開発費等）が前年同期より増加するも、1.1pt改善

(百万円)	2021/3期 2Q累計 実績	2022/3期 2Q累計 計画	2022/3期 2Q累計 実績	対前年同期	対計画
売上高	24,453	25,144	25,130	+2.8%	△0.1%
売上総利益	13,485	14,727	14,292	+6.0%	△0.9%
売上総利益率	55.2%	57.4%	56.9%	+1.7pt	△0.5pt
営業利益	4,369	4,398	4,681	+7.2%	+6.4%
営業利益率	17.9%	17.5%	18.6%	+0.7pt	+1.1pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,784	3,255	3,591	+29.0%	+10.3%
四半期純利益率	11.4%	12.9%	14.3%	+2.9pt	+1.4%

売上増や粗利率の改善が販管費増をカバーし増益

(百万円)



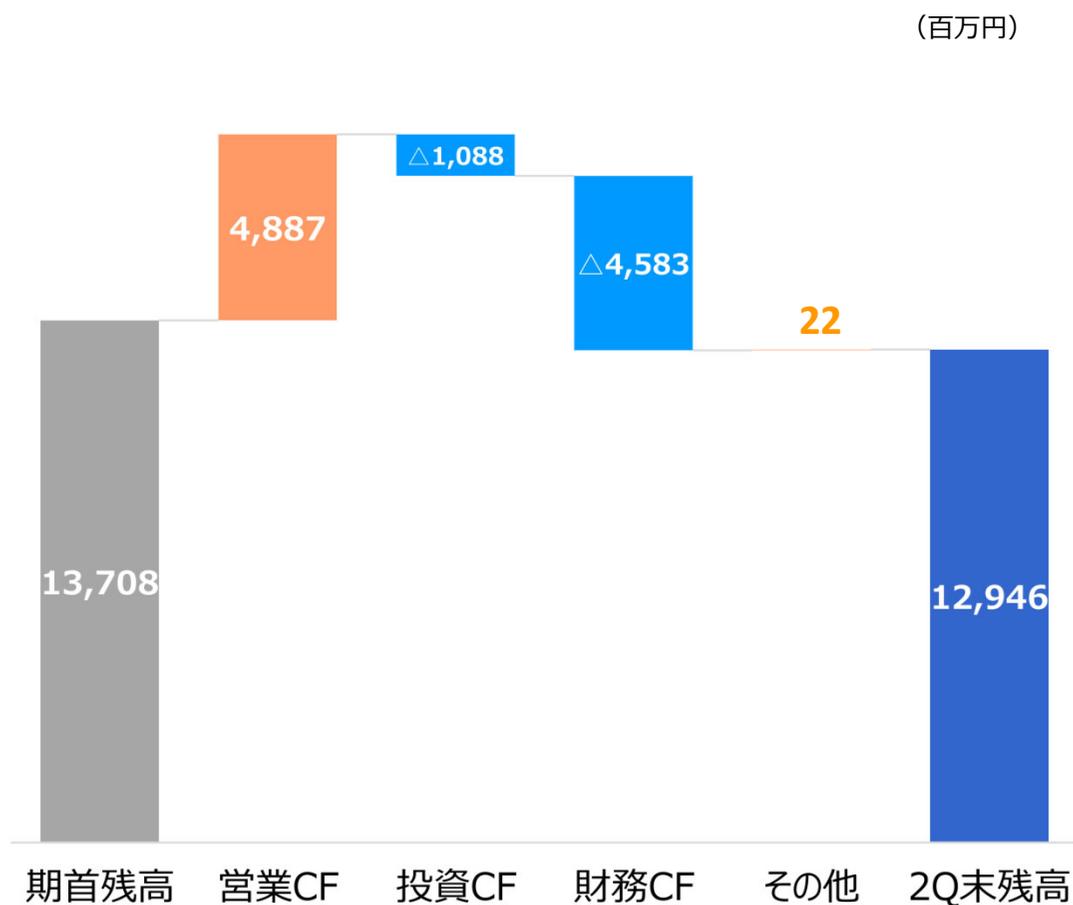
上期の進捗を踏まえ、通期計画に変更なし

- 10月以降、症例数の回復及び新商品の寄与を想定。販売見通しは計画を据え置く
- 下期の販管費は、上期で一部未執行の研究開発費の期ずれ等の増加要因はあるものの、営業関連費用等の節減により、概ね計画通りとなる見通し

(百万円)	2021/3期 実績	2022/3期 計画	対前期
売上高	51,286	52,979	+3.3%
売上総利益	28,664	30,456	+6.3%
売上総利益率	55.9%	57.5%	+1.6pt
営業利益	10,367	10,625	+2.5%
営業利益率	20.2%	20.1%	△0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,000	7,567	+278.3%
当期純利益率	3.9%	14.3%	+10.4pt

'22/3 2Q累計 連結キャッシュ・フロー

対期首残高 $\triangle 762$ 百万円



■ 営業CF

【増加】	・ 税金等調整前四半期純利益	+4,811
	・ 仕入債務の増加額	+1,048
【減少】	・ 法人税等の支払額	$\triangle 1,890$
	・ 未払消費税等の減少額	$\triangle 807$
	・ 未収入金の増加額	$\triangle 412$

■ 投資CF

【増加】	・ 有形固定資産の売却による収入	+240
【減少】	・ 有形固定資産の取得による支出	$\triangle 1,020$
	・ 無形固定資産の取得による支出	$\triangle 145$

■ 財務CF

【増加】	・ 自己株式の売却による収入	+95
【減少】	・ 配当金の支払額	$\triangle 3,952$
	・ 長期借入金の返済による支出	$\triangle 597$

(資料) 品目別売上高 2Q累計 (対前年同期)

(百万円)	2021/3月期		2022/3月期				備考
	2Q累計 実績		2Q累計 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	2,995	12.2%	3,016	12.0%	20	0.7%	
ICD関連	3,419	14.0%	3,394	13.5%	△ 25	△0.7%	
その他 * ¹	114	0.5%	166	0.7%	52	46.1%	AED含む
リズムデバイス 計	6,529	26.7%	6,577	26.2%	48	0.7%	
EPカテーテル * ¹	8,284	33.9%	8,974	35.7%	689	8.3%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル * ¹	502	2.1%	556	2.2%	53	10.7%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 * ¹	2,584	10.6%	2,801	11.1%	217	8.4%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	11,371	46.5%	12,332	49.1%	960	8.4%	
人工血管関連 * ¹	4,132	16.9%	4,222	16.8%	90	2.2%	ステントグラフト (胸部・腹部)、オープンステントグラフト含む
その他 * ¹ * ²	359	1.5%	186	0.7%	△ 172	△48.1%	
外科関連 計	4,492	18.4%	4,409	17.5%	△ 82	△1.8%	
PI関連 * ¹ * ³	1,965	8.0%	1,623	6.5%	△ 341	△17.4%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈ステント、心房中隔欠損閉鎖器具含む
消化器関連 * ¹	94	0.4%	187	0.7%	92	97.4%	大腸ステント、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針含む
インターベンション 計	2,059	8.4%	1,810	7.2%	△ 249	△12.1%	
合計	24,453	100.0%	25,130	100.0%	676	2.8%	

*¹ 自社製品含む

*² 外科関連の“その他”は、従来の“人工弁関連”及び“血液浄化関連”を含めて表示しております。

*³ インターベンションの“PI (percutaneous intervention) 関連”は、従来の“その他”を含めて表示しております。

(資料) 連結損益計算書 2Q累計 (対前年同期)

(百万円)	2021/3月期		2022/3月期			
	2Q累計 実績		2Q累計 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	24,453	100.0%	25,130	100.0%	676	2.8%
売上原価	10,967	44.8%	10,837	43.1%	△ 129	△1.2%
売上総利益	13,485	55.2%	14,292	56.9%	806	6.0%
販管費及び一般管理費	9,116	37.3%	9,610	38.2%	494	5.4%
営業利益	4,369	17.9%	4,681	18.6%	312	7.2%
営業外収益	431	1.8%	233	0.9%	△ 197	△45.8%
営業外費用	788	3.2%	103	0.4%	△ 684	△86.9%
経常利益	4,012	16.4%	4,812	19.2%	800	19.9%
特別利益	0	0.0%	1	0.0%	0	186.4%
特別損失	5	0.0%	2	0.0%	△ 3	△62.9%
税引前利益	4,007	16.4%	4,811	19.1%	804	20.1%
税金費用	1,223	5.0%	1,219	4.9%	△ 3	△0.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,784	11.4%	3,591	14.3%	807	29.0%

(資料) 品目別売上高 通期計画

(百万円)	2022/3月期		2022/3月期		備考
	2Q累計 実績		通期 計画		
	金額	構成比	金額	構成比	
ペースメーカー関連	3,016	12.0%	6,205	11.7%	
ICD関連	3,394	13.5%	7,085	13.4%	
その他 *1	166	0.7%	290	0.5%	AED含む
リズムデバイス 計	6,577	26.2%	13,581	25.6%	
EPカテーテル *1	8,974	35.7%	18,577	35.1%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル *1	556	2.2%	1,428	2.7%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 *1	2,801	11.1%	5,729	10.8%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	12,332	49.1%	25,735	48.6%	
人工血管関連 *1	4,222	16.8%	9,350	17.6%	ステントグラフト（胸部・腹部）、オープンスターグラフト含む
その他 *1 *2	186	0.7%	—	—	
外科関連 計	4,409	17.5%	9,350	17.6%	
PI関連 *1*3	1,623	6.5%	3,785	7.1%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈ステント、心房中隔欠損閉鎖器具含む
消化器関連 *1	187	0.7%	526	1.0%	大腸ステント、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針含む
インターベンション 計	1,810	7.2%	4,311	8.1%	
合計	25,130	100.0%	52,979	100.0%	

*1 自社製品含む

*2 外科関連の“その他”は、従来の“人工弁関連”及び“血液浄化関連”を含めて表示しております。

*3 インターベンションの“PI（percutaneous intervention）関連”は、従来の“その他”を含めて表示しております。

(資料) 連結損益計算書 通期計画

(百万円)	2022/3月期		2022/3月期	
	2Q累計 実績		通期 計画	
	金額	構成比	金額	構成比
売上高	25,130	100.0%	52,979	100.0%
売上原価	10,837	43.1%	22,522	42.5%
売上総利益	14,292	56.9%	30,456	57.5%
販管費及び一般管理費	9,610	38.2%	19,831	37.4%
営業利益	4,681	18.6%	10,625	20.1%
営業外収益	233	0.9%	274	0.5%
営業外費用	103	0.4%	217	0.4%
経常利益	4,812	19.2%	10,682	20.2%
特別利益	1	0.0%	—	—
特別損失	2	0.0%	—	—
税引前利益	4,811	19.1%	10,682	20.2%
税金費用	1,219	4.9%	3,115	5.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,591	14.3%	7,567	14.3%

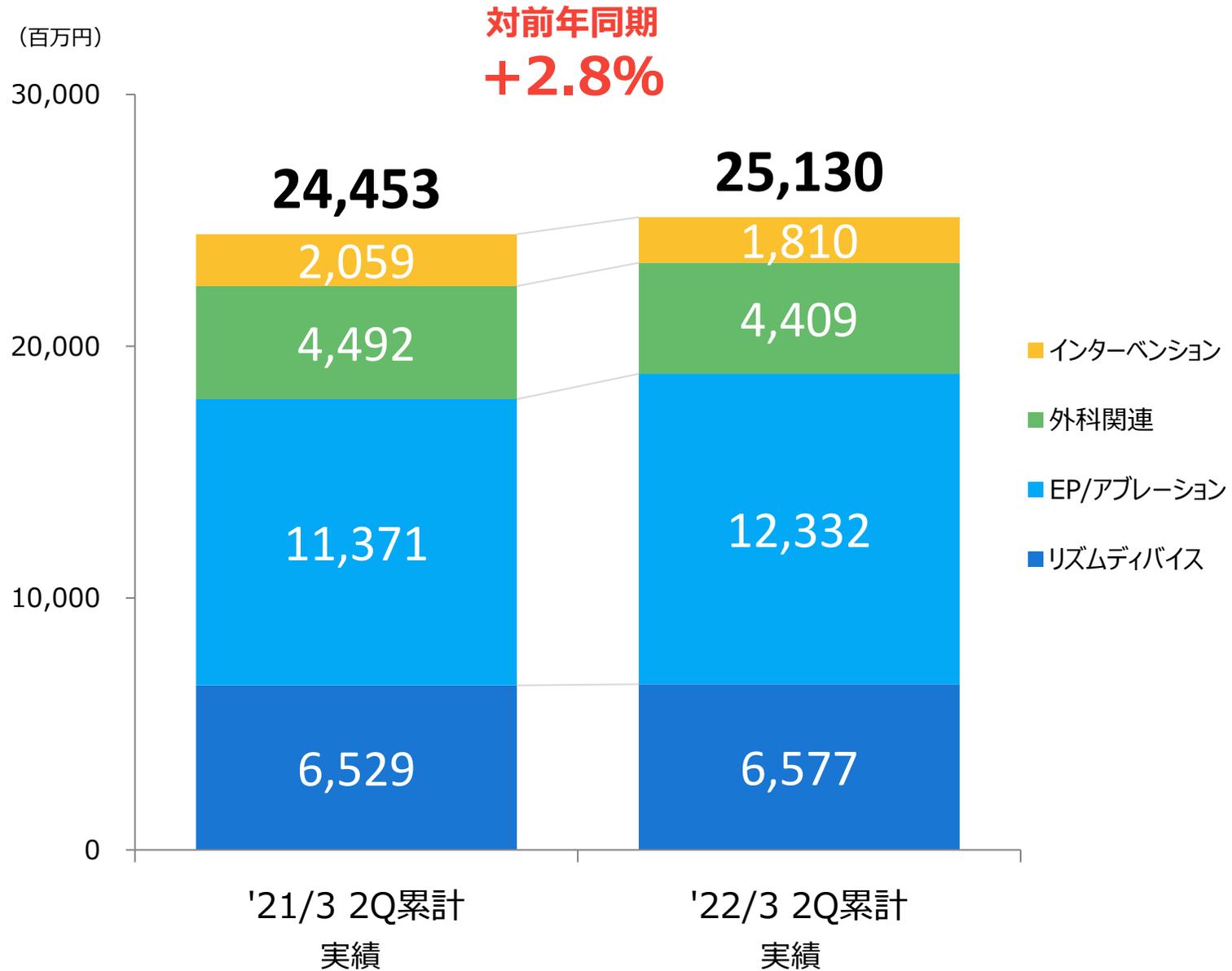
2. 販売状況および今後の見通し

代表取締役副社長

鈴木 厚宏

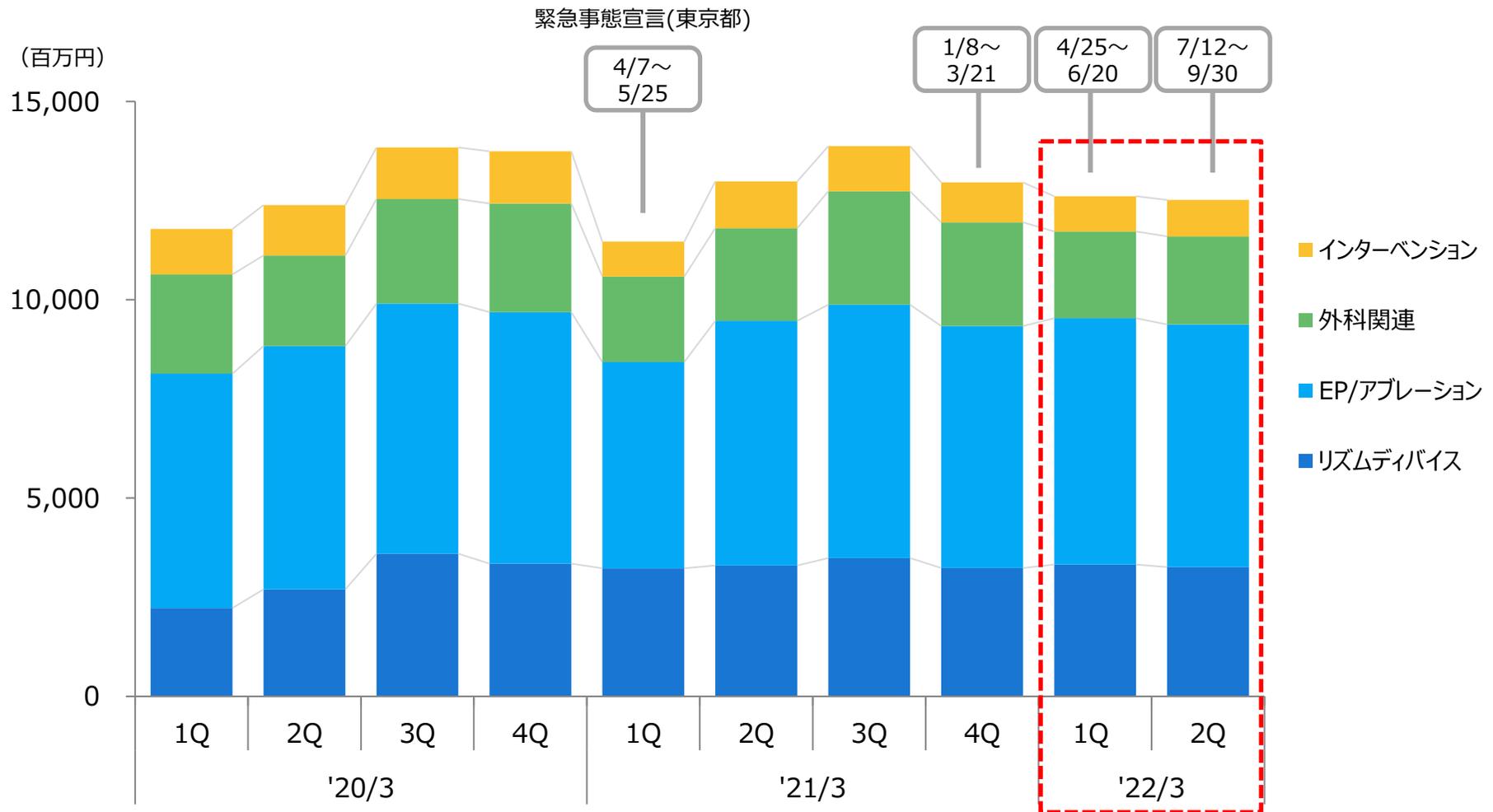
2022年3月期 上期実績

'22/3 2Q累計 品目別売上高



品目別売上高 四半期推移

- ・ 8月の感染拡大により症例回復は足踏みするも、上期は前年同期を上回る
- ・ 9～10月は急速に感染者数が減少し、症例は上向く



リズムデバイス

- PM関連は大きな減少はなく横ばいで推移
- ICDを中心に待機症例（予防的植込み）に影響あり

EP/アブレーション

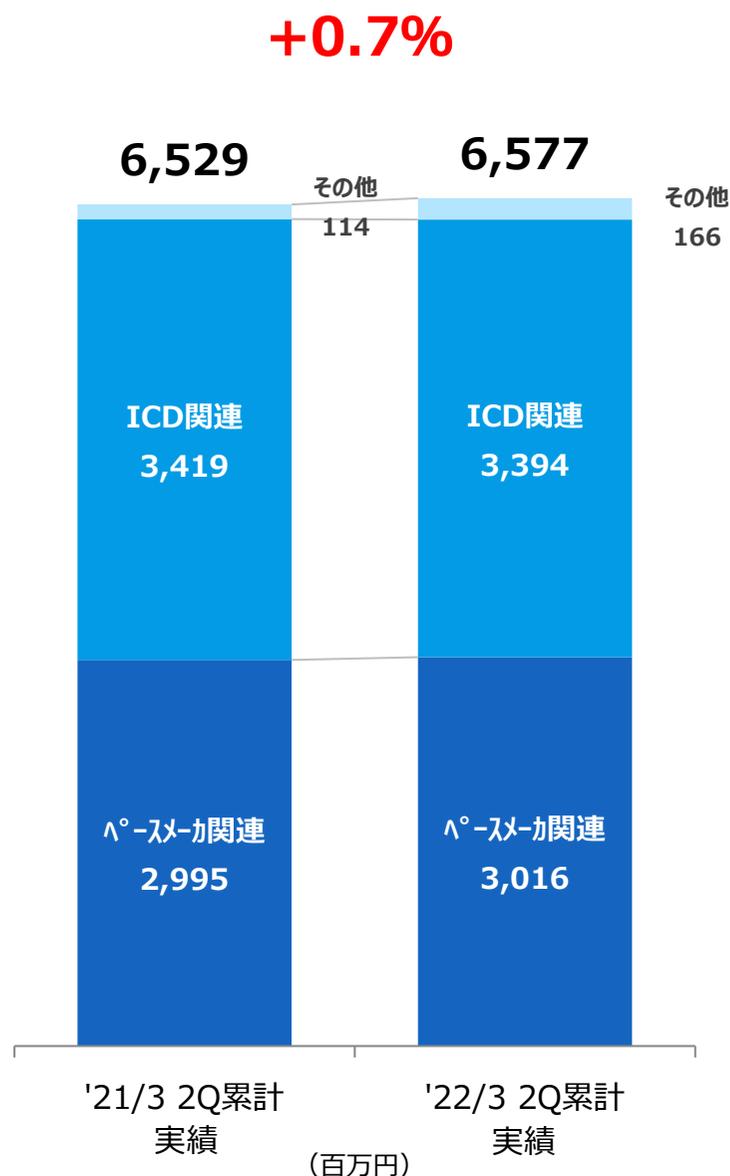
- 7～8月の感染急拡大により、AF（心房細動）症例の回復傾向が停滞
- 9月以降は回復に転換

外科関連

- 待機的症例であるステントグラフトに一部影響
- 人工血管・OSGは緊急症例もあり、影響は限定的

インターベンション

- 他の品目に比べPCI症例の回復は鈍く、症例数は減少
- 消化器領域の影響は限定的



• ペースメーカー関連

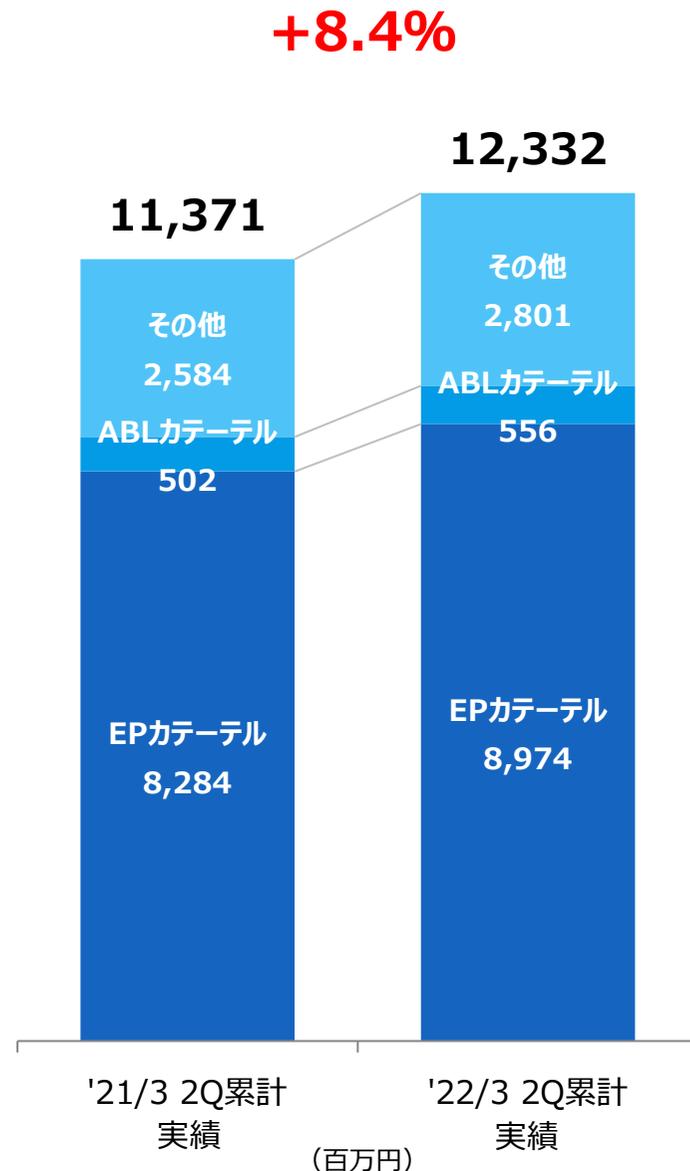
- 症例数は横ばいで推移しており、前年同期水準を維持

• ICD関連

- ICDは予防的植込みが延期され微減
- オンリーワンのS-ICDは5%程度の増収
- S-ICDリードは保険償還価格の改定の影響あり（2021年1月・4月の段階的引下げ）

• AED関連

- 販売・レンタルともに前年を上回る



• EPカテーテル

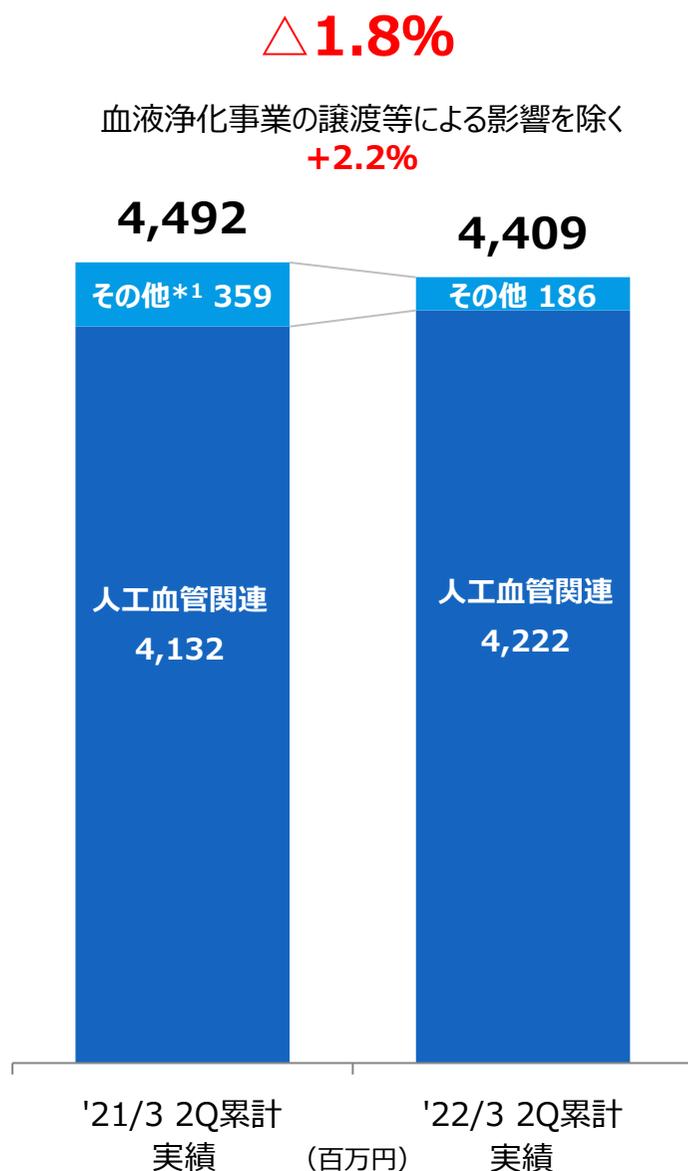
- AF症例は対前年同期約10%増に回復
- オンリーワンの心腔内除細動カテーテル「BeeAT」や食道温モニタリングカテーテルが伸長

• ABLカテーテル

- 内視鏡レーザーアブレーションカテーテル「HeartLight X3」を8月に上市し伸長

• その他

- 高周波心房中隔穿刺針は競合品発売の影響はあるも増収
- 自社製スティーラブルシース「Leftee」を中心に大幅増



*1 “その他”は、従来の“人工弁関連”及び“血液浄化関連”です。

人工血管関連（開胸手術）

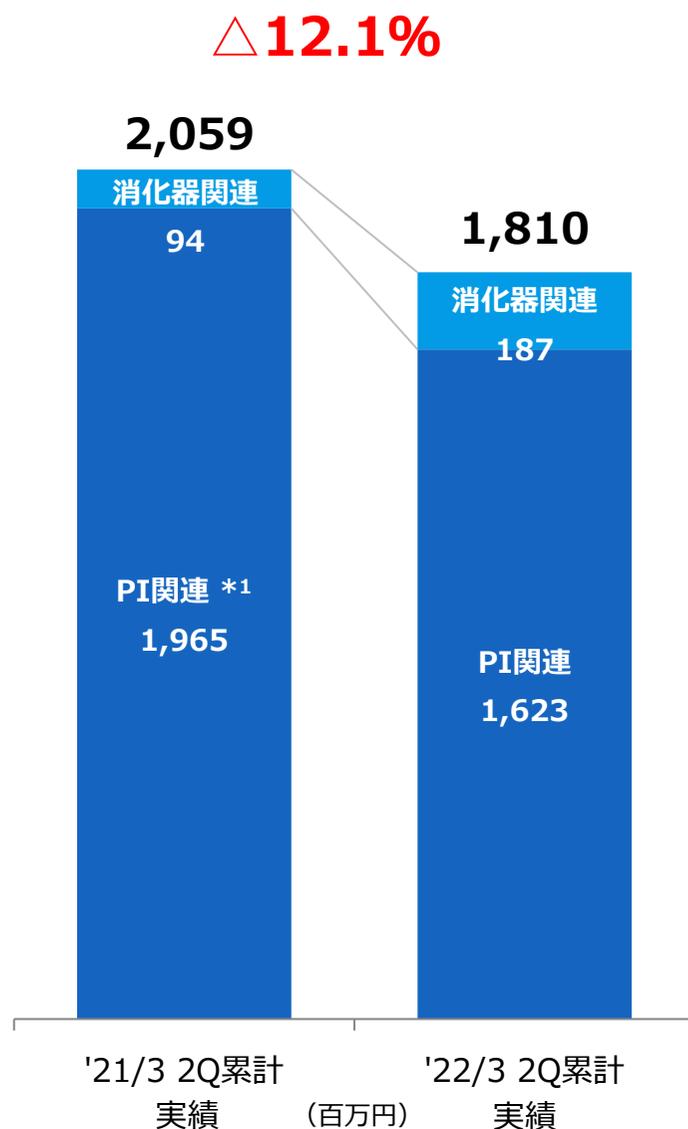
- 自社製品のオープンスターグラフト「Frozenix」は引き続き好調
- 人工血管「J Graft」はオープンスターグラフトとの併用効果もあり増収

人工血管関連（経皮的手術）

- 腹部用スターグラフトは待機的症例が多く、ワクチン接種時期との調整の影響を受け減収

その他

- 血液浄化関連は事業譲渡が2021年4月に完了



*1 PI (percutaneous intervention : 経皮的インターベンション) 関連

• PI関連

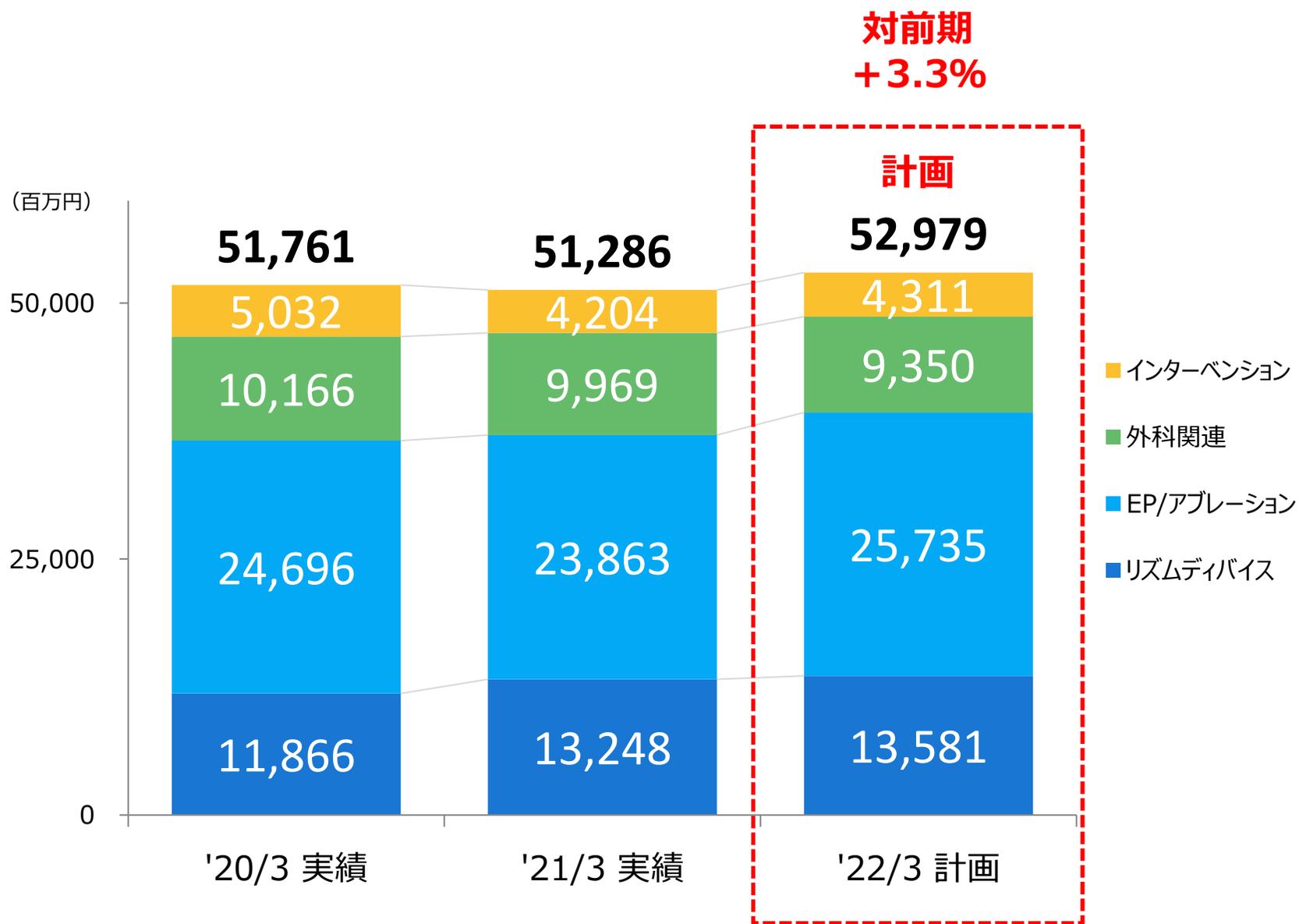
- PCI症例が減少し、関連製品が減収
薬剤溶出型冠動脈ステント、ガイドワイヤー、バルーンカテーテル等
- 心房中隔欠損閉鎖器具「Figulla Flex II」の販売は好調に推移し、増収
- 貫通用カテーテルの販売終了（2020年12月）が減収要因となる

• 消化器関連

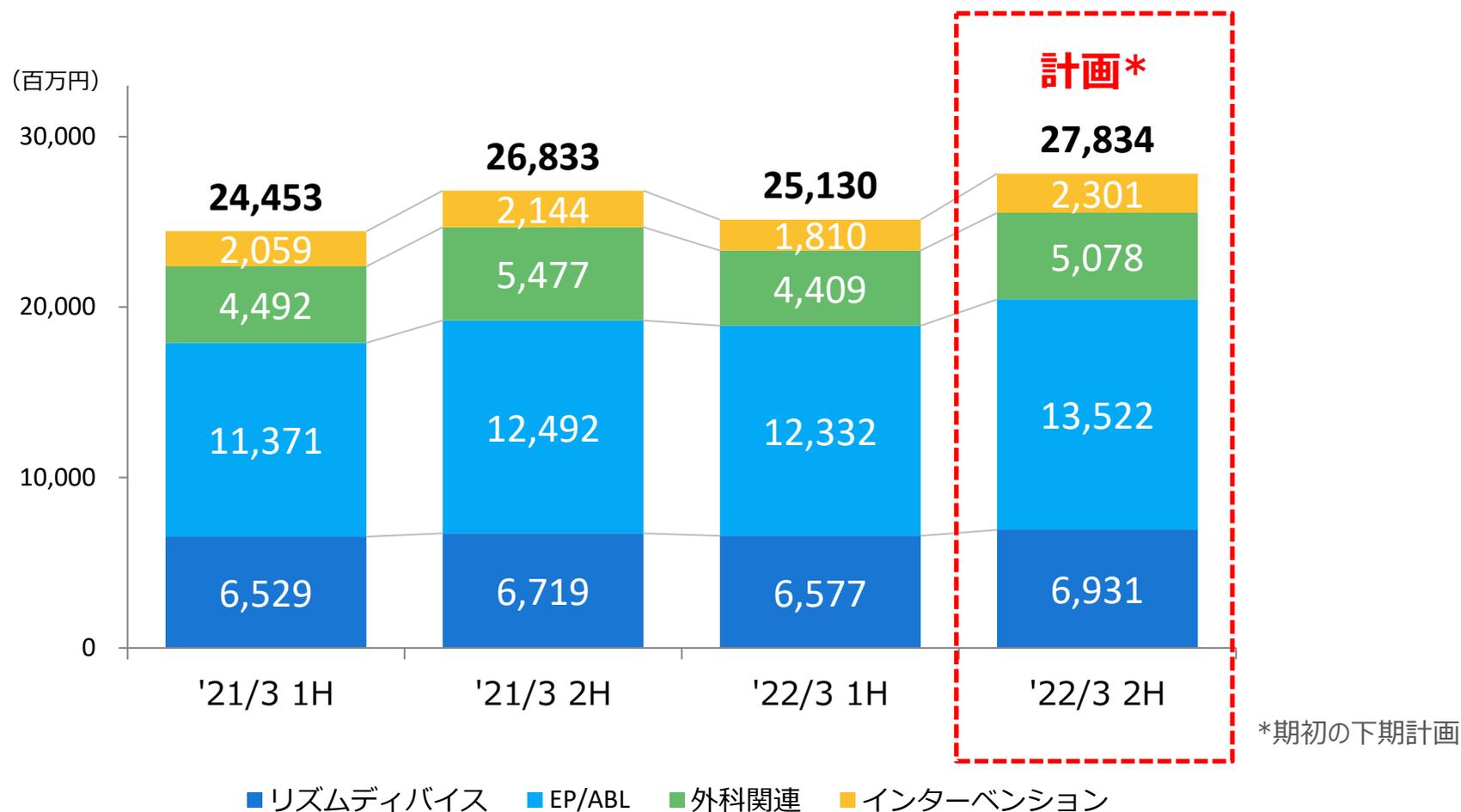
- 大腸ステント「JENTLLY」は預託施設数が拡大し、大幅増収
- 肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針「arfa」も販促が奏功し、大幅増収
- 胃・十二指腸ステントを9月に限定上市

2022年3月期 通期見通し

'22/3 通期計画 品目別売上高



- 日本国内ではワクチン接種等により、9月以降感染者数が急速に減少
- '22/3下期は症例数の回復と新商品寄与により、売上の増加を見込む



品目別 通期見通しのポイント



リズムデバイス +2.5%

- PM関連は症例微増想定もICD関連は弱含む見通し
- CRT-Dは独自機能「HeartLogic」を訴求し拡販

EP/アブレーション +7.8%

- AF症例の回復を想定し、関連製品の増加を見込む
- 「RFニードル」は競合製品の影響を織り込む
- 内視鏡レーザーアブレーションカテーテルの早期普及に取り組む

外科関連 △6.2%*

*血液浄化事業の譲渡等による影響を除く +3.4%

- 冬場の症例増を背景に、人工血管、OSGの堅調見込む
- 腹部ステントグラフトもコロナ影響から回復を想定。新商品「Alto」の導入を進める

インターベンション +2.5%

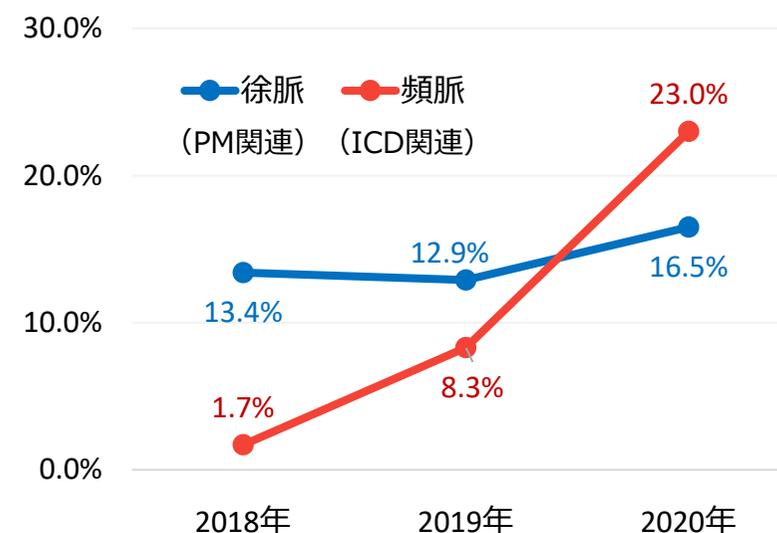
- PCI関連商品は引き続き厳しい状況を想定
- 消化器領域の一層の開拓、胃・十二指腸ステントを拡販

不整脈事業のさらなる強化を図る

- BSJ社*との販売提携開始（2019年9月）から2年が経過
- 頻脈領域（ICD関連）における市場シェアを獲得
- 営業支援契約の終了を5カ月前倒し、
2022年4月BSJ社営業人員が当社に転籍

*ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

当社CRM商品の市場シェア



出所：JADIA資料を元に自社推計

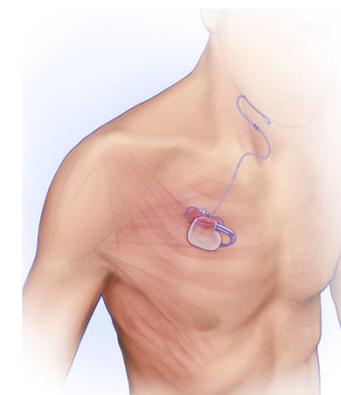
**EP事業と合わせた効率的な組織運営と
不整脈事業の一層の強化を目指す**

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療デバイス

- 「Inspire UAS」
- Inspire Medical Systems, Inc. (米国)
- 2022/3期4Qの初症例を予定 (2021年6月保険適用済)
- 国内初のオンリーワン商品
- 舌下神経への電気刺激によりOSA *1を治療
- CPAP*2不適患者に対する新たな治療の選択肢を提供
- 診療科：耳鼻咽喉科、睡眠センター、循環器科等



植込みイメージ



「Inspire UAS」
(パルスジェネレータ)

*1 OSA: Obstructive Sleep Apnea Syndrome (閉塞性睡眠時無呼吸症候群)

*2 CPAP: Continuous Positive Airway Pressure (経鼻的持続陽圧呼吸療法)

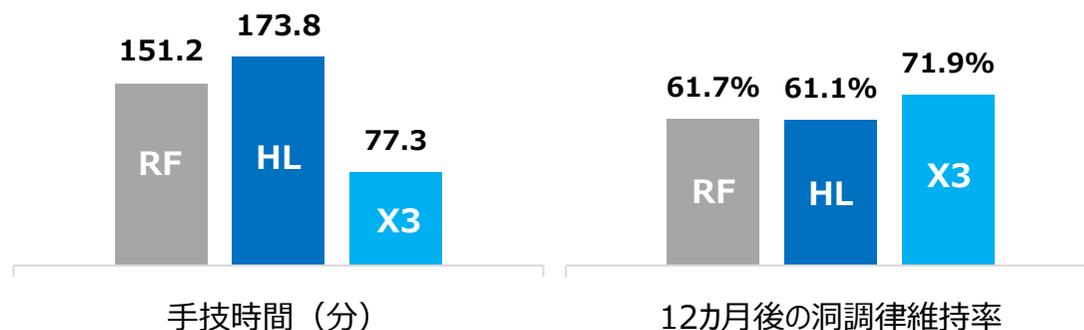
**臨床ニーズの高い医療機器の国内初導入に向け
着実に準備を進める**

内視鏡レーザーアブレーション 新商品 X3発売

- 「HeartLight X3」
- 2021年8月に上市、既に200例以上を実施
- 新規採用施設が順調に増加

従来品の課題をクリア

- モーターコントロールによる連続的な焼灼
- 柔軟なバルーンが多様な肺静脈形状へ適合



内視鏡レーザーアブレーションシステム
「HeartLight X3」
左：カテーテル 右：コンソール

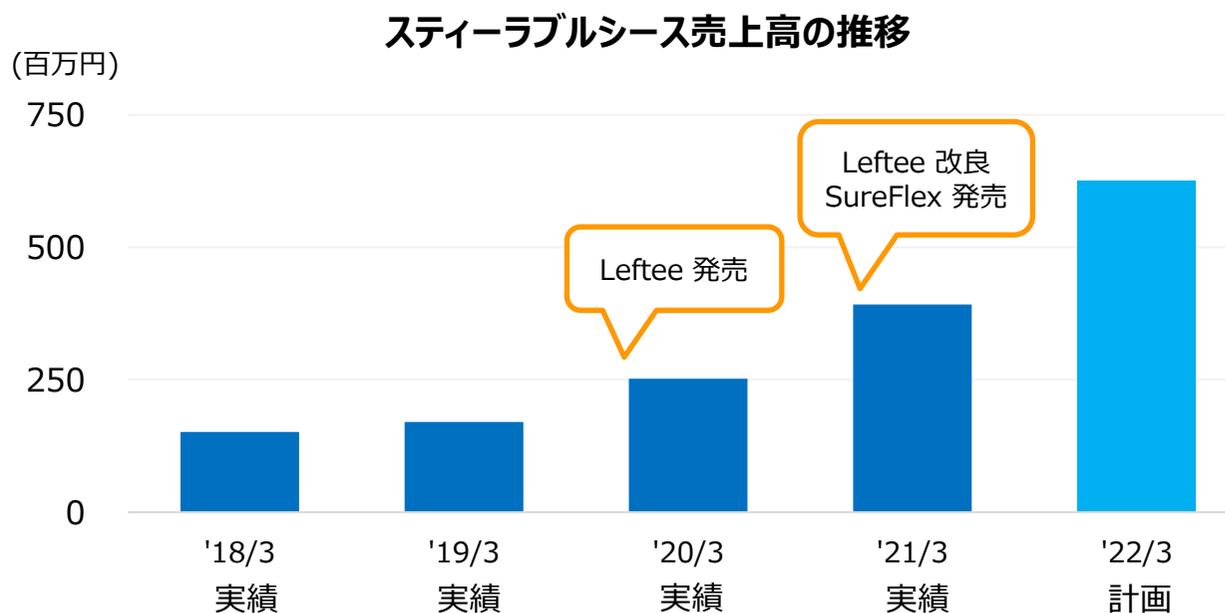
参考文献：

1. Circ Arrhythm Electrophysiol. 2021;14:e009544. DOI: 10.1161/CIRCEP.120.009544
2. J Am Coll Cardiol. 2015 Sep 22;66(12):1350-60

医療現場で良好な評価、順調に普及が進む

ステイラブルシースのラインナップ強化が奏功

- 自社製品「Guidee」に続き、片手のみで扱える「Leftee」を上市、改良を重ねる
- ベイリス・メディカル社製「SureFlex」を導入
- コンセプトの異なる製品を揃え、医師の幅広いニーズに応える



Guidee
Leftee
Left Hand Model



ステイラブルシース
「Leftee」

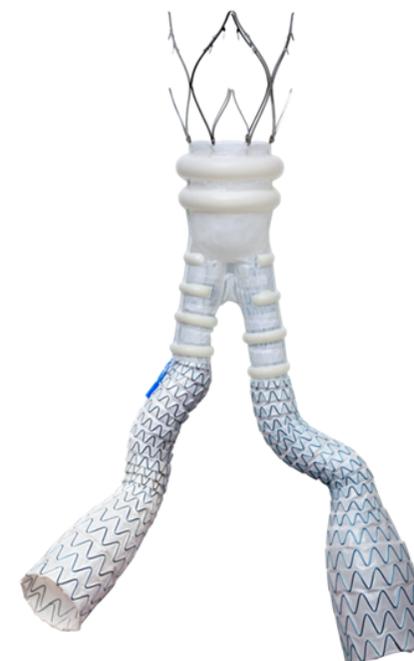
医療現場の多様なニーズに応え伸長

BSC社によるベイリス・メディカル社の買収について

- 2021年10月6日 ポストン・サイエンティフィック社がベイリス・メディカル社のカーディオロジー事業の買収を発表
- 当社はベイリス・メディカル社と高周波心房中隔穿刺針の独占販売契約を締結、2013年から日本国内にて販売('21/3期 売上高 約40億円)
- 高周波心房中隔穿刺針の現行契約と新商品「VersaCross」の取扱いにつき、今後、ポストン・サイエンティフィック社と協議を行う予定

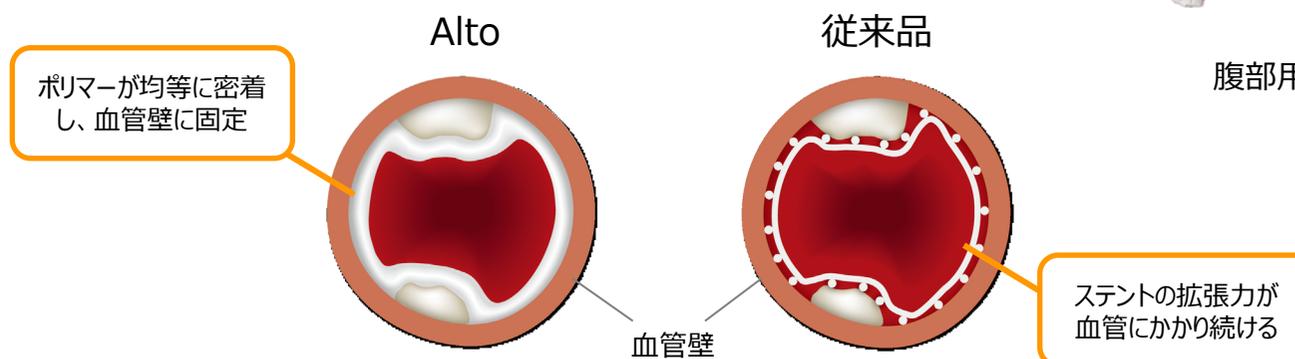
腹部用ステントグラフトの新商品

- 腹部用ステントグラフト「Alto」
- 国内初のポリマーシーリングステントグラフト
- 市場で最も細い15Fr（外径）のデリバリーシステム
- 2021年10月 限定販売を開始
- ポリマーシーリングにより、血管の拡大を抑制



腹部用ステントグラフト「Alto」

<ステント留置時の血管断面図>

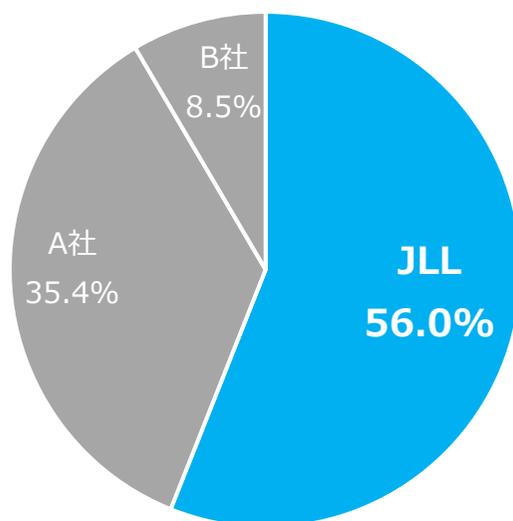


「AFX2」を補完し、シェア25%を目指す

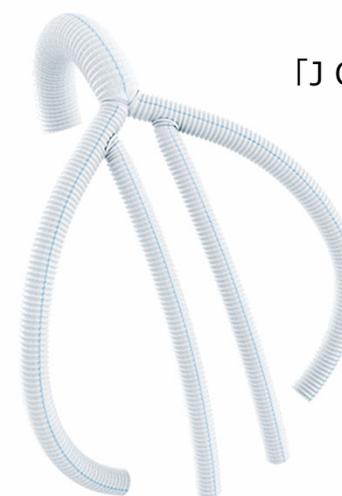
自社製 人工血管のラインナップ強化

- 腹部大動脈置換用人工血管 「J Graft Quadruple」
- 将来的な経皮的治療も見据えた脚部大口径仕様の4分岐モデル
- 2021年10月 販売開始

人工血管 市場シェア 2020年



出所：R&D 2021

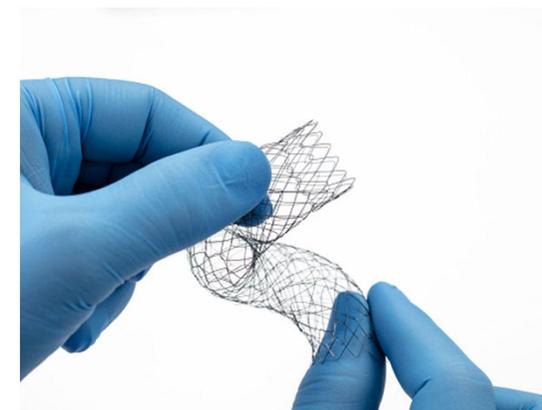


人工血管
「J Graft Quadruple」

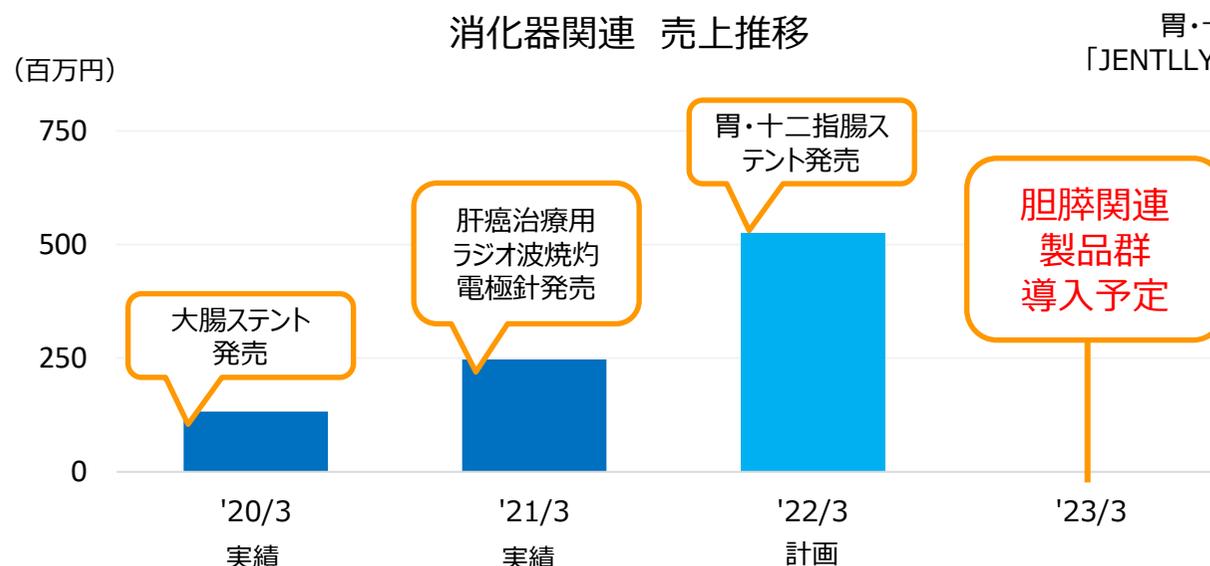
業界随一の製品ラインナップでさらに競争力を高める

消化器領域の新製品を発売

- 「JENTLLY NEO Duodenal Stent」
- 胃・十二指腸用ステント
- 2021年9月 限定施設で販売開始
- 胃・十二指腸は、上部消化管領域（※大腸は下部）



胃・十二指腸用ステント
「JENTLLY NEO Duodenal Stent」



**来期の胆膵関連製品による本格参入を見据え、
着実に消化器の販売網を拡大**

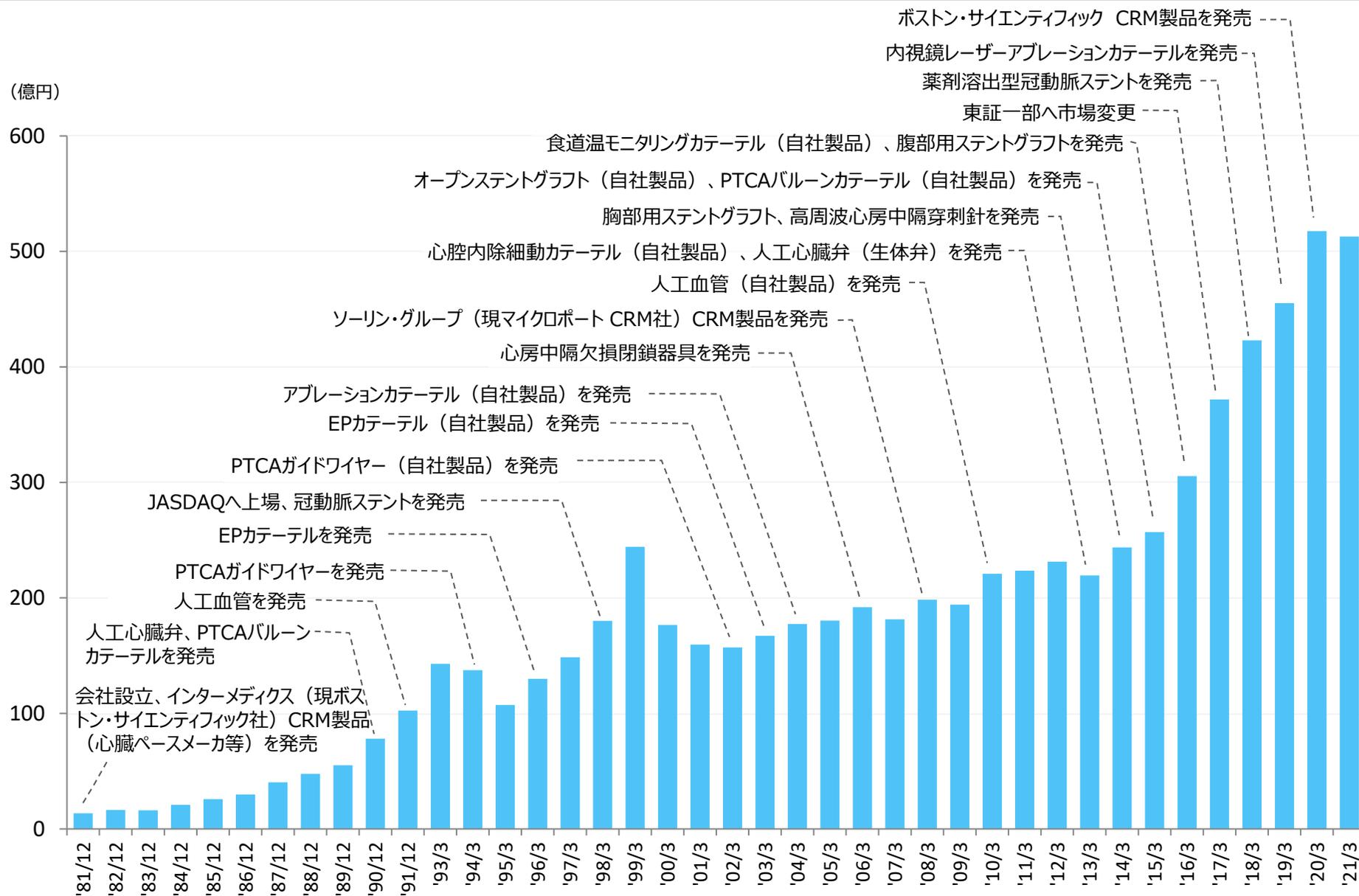
主要プロダクト パイプライン

品目区分	製品	対象疾患	上市予定	自社区分
リズムデバイス	閉塞性睡眠時無呼吸症候群 植込み型治療デバイス 「Inspire UAS」	閉塞性睡眠時無呼吸症 候群(OSA)	FY22/3 4Q	仕入商品
EP/ABL	内視鏡レーザーアブレーション カテーテル「HeartLight X3」	心房細動	2021/8上市済	仕入商品
外科関連	腹部用ステントグラフト「Alto」	大動脈瘤	2021/10上市済	仕入商品
外科関連	4分岐人工血管 「J Graft Quadruple」	大動脈瘤	2021/10上市済	自社製品
外科関連	4分岐オープンステントグラフト	大動脈瘤	FY23/3 以降 製品改良のため 上市を延期	自社製品
インターベンション	薬剤溶出型末梢用バルーン 「LEG FLOW」	末梢血管狭窄	FY24/3 上期	仕入商品
インターベンション	胃・十二指腸ステント 「JENTLLY NEO Duodenal Stent」	胃・十二指腸狭窄	2021/9上市済 (限定施設)	自社製品
インターベンション	胆膵関連製品	-	FY23/3 下期	自社製品

会社概要

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設立	1981年2月6日
株式	東証一部上場
証券コード	7575
事業内容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資本金	2,115百万円
決算期	3月31日
従業員数	連結1,204名/単体996名（2021年9月30日 現在）
事業所	営業拠点48ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、関西ロジスティックスセンター、研究開発統括部、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター）（2021年9月30日 現在）
連結子会社	SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、心宜医療器械（深圳）有限公司、JLL Malaysia Sdn.Bhd.

当社沿革と売上高推移



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンションの4つに大別されます。

リズムデバイス

不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなる、または早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

リズムデバイス

心臓ペースメーカー
ICD/S-ICD
CRT-P
CRT-D
AED

外科関連

本来の機能が失われてしまった血管を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

EP/アブレーション

EPカテーテル
アブレーションカテーテル
心腔内除細動カテーテル
高周波心房中隔穿刺針
内視鏡レーザーアブレーションカテーテル

心臓血管領域

外科関連

人工血管
オープンステントグラフト
ステントグラフト

EP/アブレーション

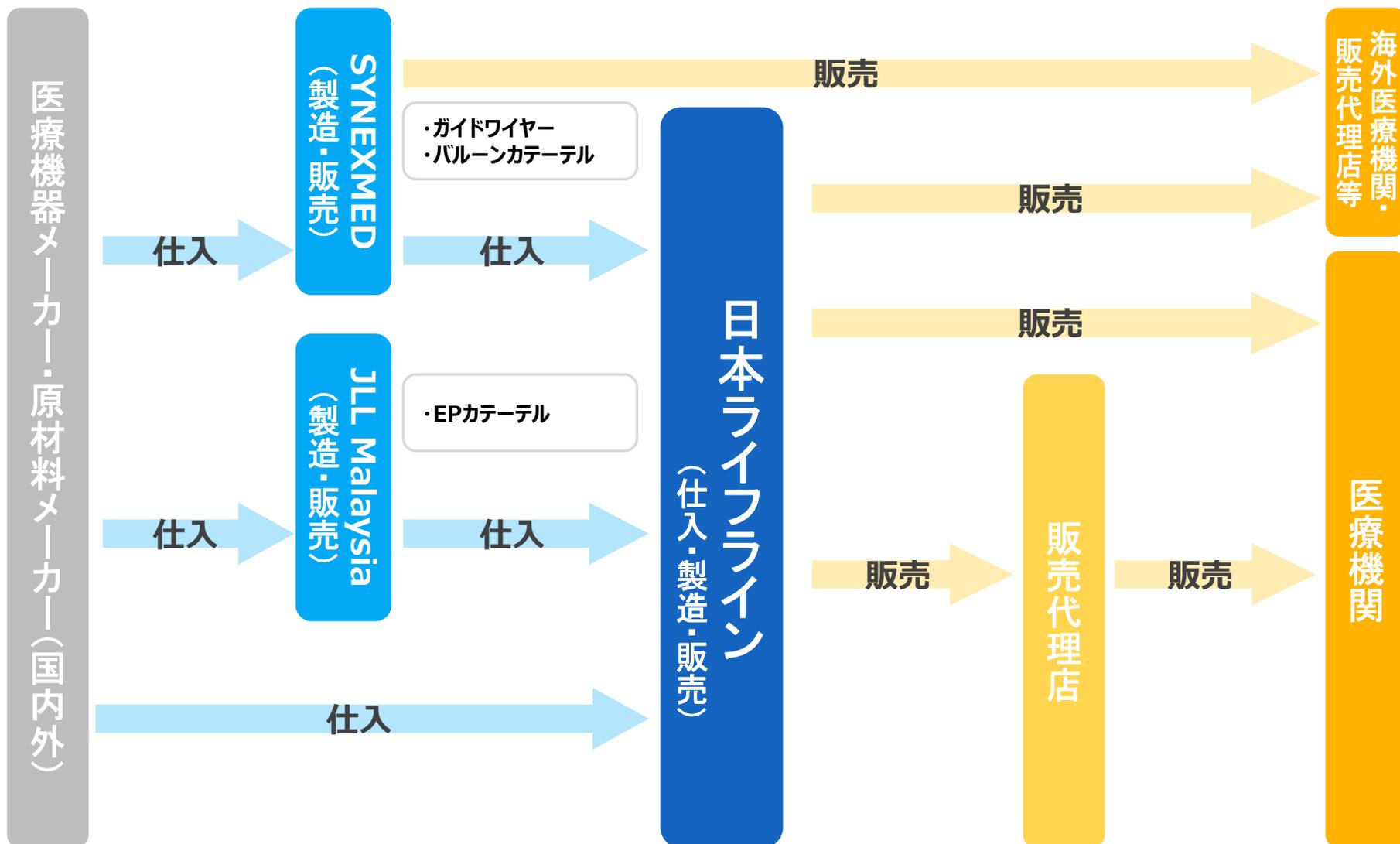
不整脈の検査や治療を行うための、ディスプレイ式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

インターベンション

ガイドワイヤー
バルーンカテーテル
心房中隔欠損閉鎖器具
薬剤溶出型冠動脈ステント
大腸ステント
肝癌治療用
ラジオ波焼灼電極針

インターベンション

カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者様への負担が小さい治療法です。



心臓ペースメーカー

(Boston Scientific社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

ICD（植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



CRT-P（両心室心臓ペースメーカー）

(Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。

S-ICD（完全皮下植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



従来のICDは静脈を介し心臓内にリードを留置するのに対し、S-ICDは全てのシステムを皮下に植込むことで血管内や心臓へ異物が留置されません。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）

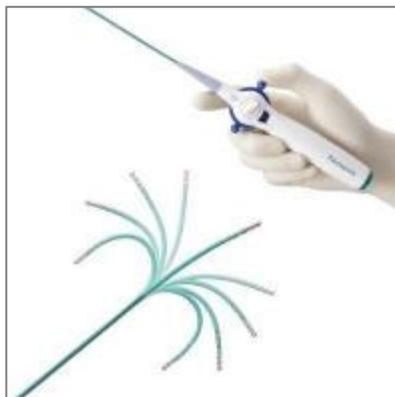
(Boston Scientific社製)



両心室心臓ペースメーカーの機能に加え除細動機能も有しており、致死性の不整脈の発生時は、本体から電気刺激を心臓内に与え治療を行います。

アブレーションカテーテル

(自社製品)

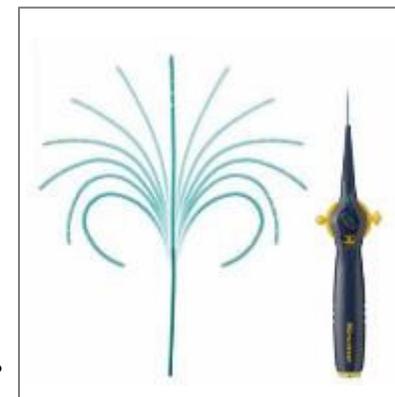


頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることで治療します。

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

EP（電気生理用）カテーテル

(自社製品)



心腔内除細動カテーテル

(自社製品)



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

内視鏡レーザーアブレーションカテーテル (CardioFocus社製)



バルーン内部からレーザーを照射し、頻脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡により、正確な留置および焼灼が可能です。

高周波心房中隔穿刺針

(BAYLIS MEDICAL社製)



アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

人工血管

(自社製品)



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

オープンステントグラフト

(自社製品)



ステントグラフト

(ENDOLOGIX社製)



外科手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

バルーンカテーテル

(自社製品)



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

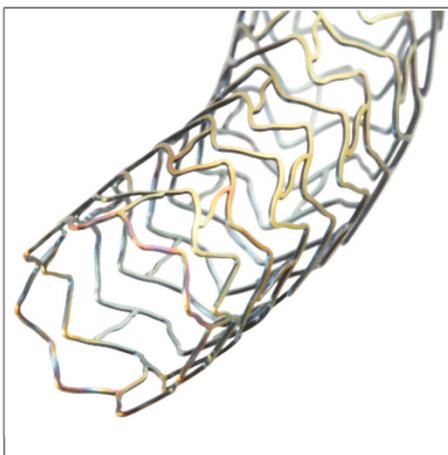
ガイドワイヤー

(自社製品)



薬剤溶出型冠動脈ステント

(BIOTRONIK社製)



血管の詰まった部分を風船（バルーン）で拡張させた後に留置し、再び詰まるのを防ぎます。また塗布された薬剤も再発防止に効果があります。

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、外科手術を行うことなくカテーテルを用いて閉鎖栓という円盤状の器具で塞ぎ治療します。

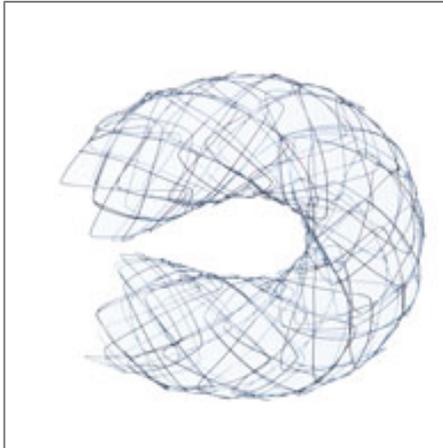
心房中隔欠損閉鎖器具

(Occlutech社製)



大腸用ステント

(自社製品)



癌により閉塞した大腸を押し広げるために用いられます。細いガイドワイヤーで閉塞部を通過させた後、これに沿ってステント留置器具を通過させステントを展開します。症状を大きく緩和させ、QOLの向上に繋がります。

胃・十二指腸用ステント

(自社製品)



癌により閉塞した胃・十二指腸を押し広げるために用いられます。ガイドワイヤーを用いて閉塞部を通過させた後、ステントを展開し閉塞部位を押し広げ、狭窄を改善します。

肝癌治療用ラジオ波焼灼システム

(自社製品)



超音波(エコー)やCTで観察しながら針状の電極を経皮的に肝癌の病変組織へ挿入し、電極周囲にラジオ波による熱を発生させ病変を焼灼し治療します。

研究開発

研究開発統括部 (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park North Square



(2018/04~)

中核工場

戸田ファクトリー (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park South Square



(2012/01~)

量産対応

小山ファクトリー (栃木県小山市)



(2014/10~)

血管・OSGの開発・生産

市原ファクトリー (千葉県市原市)



(2011/01~)

海外工場 ①

深圳工場 (中国深圳市)

心宜医疗器械(深圳)有限公司



(2010/10~)

海外工場 ②

マレーシア工場 (マレーシアペナン州)

JLL Malaysia Sdn.Bhd.



(2020/06~)

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社

経営企画室

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:<https://www.jll.co.jp>